



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

首都大学東京

PRODRONE®

RIEGL JAPAN



新型無人ヘリによるサーベイ精度の レーザースキャニングシステム



国際ドローン展
International Drone Expo 2015

RIGEL VUX-1

「首都大学東京 無人ヘリ災害調査・支援特別班」

- ・ 災害時に、無人ヘリを用いて調査や災害対策支援を行う産学連携のグループである。
- ・ 発災時に災害現場の情報を無人ヘリで取得し、防災対策本部をはじめとした現地で活動を行う人や組織に必要な情報を提供することを目的とする。

活動実績

2012年4月 宮城県岩沼市(津波災害)

津波被害地の環境変化のモニタリング
津波被害および復興過程のアーカイブ

2012年5月 茨城県つくば市(竜巻災害)

発災翌日に被害の定量的把握のために撮影を実施

2012年9月 九州北部豪雨(土砂災害)

発災2ヶ月後に被害の定量的把握のために撮影を実施

2014年7月 長野県南木曾町(土砂災害)

発災4日後から被害の定量的把握のために撮影を実施

2014年8月 広島県広島市(土砂災害)

広島市防災対策本部からの正式要請に基づき、2次災害防止のための監視飛行を実施。

2014年9月 長野県王滝村(火山災害)

2次災害防止および生存者発見のための飛行を目指したが、現場の指揮の混乱により、十分な活動をできなかった。

2014年11月 長野県白馬村(地震災害)

白馬村からの正式要請に基づき災害現況把握のためのデータ取得

活動内容

(1) 災害現況把握のための空撮画像・動画の取得

(2-A) 災害現況の定量的把握のためのステレオ画像の取得

(2-B) (2-A)で取得したステレオ画像の解析による超高解像度
オルソ写真および数値表層モデル(DSM)の作成

(3) **本レーザスキャニングシステムを用いた災害現況
の定量的把握 (2015年夏からの予定)**

「首都大学東京 無人ヘリ災害調査・支援特別班」についてのお問い合わせは、
首都大学東京 都市環境科学研究科 地理情報学研究室の泉 岳樹 (izumi@tmu.ac.jp)
までお願いします。